

平成20年度 ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI

(研究成果の社会還元・普及事業)

業務完了報告書

機関名	北海道大学 (10101)	整理番号	HT20005
実施担当者	(代表者) ふりがな ささき なおき 氏名: 佐々木 直樹		
	氏名: 福井 彰雅		
開催日	平成20年 9月 23日 (火)		
開催会場	北海道大学理学部生物科学科(高分子機能学)理学部2号館, 他		
	住所: 札幌市北区北10条西8丁目		
プログラムのテーマ名	生命のミステリー ～生き物のかたちと働き～		
対象者	中学生4名、高校生23名		
関連URL	実施の様子がわかるような大学で作成されたホームページがあれば記入してください。 <a href="http://altair.sci.hokudai.ac.jp/info_20080927.html">http://altair.sci.hokudai.ac.jp/info_20080927.html</a>		
実施の状況	<p>本プログラムは、北海道大学理学部生物科学科(高分子機能学)が進めている最先端の生命科学に関するセミナーや実験を通して、生物がどのように動いているのか、分子から個体までの精巧なかたちとその働きについて高校生のみなさんに知ってもらおうという趣旨で実施されました。この日は、札幌市近郊からきた高校生を中心に父母ら26名の参加がありました。</p> <p>はじめに佐々木直樹教授の挨拶がありました。オリエンテーションの後に、参加した生徒達はおのおの興味のある個別テーマごと、6つのグループに分けられました。各グループではまず始めにテーマに関するセミナーと実験についての説明を行いました。それぞれのグループで高校生向けの内容を準備したので、高校生からは「はじめて知った」「興味をもった」といううれしい感想が多く聞こえました。その後、実験に取り組んでもらいました。</p> <p>午前の部が終了したらお昼ご飯です。理学部ロビーに集合して立食形式で全員でランチを楽しみ、教員やTAの大学院生らと高校生の間で会話が弾みました。食事の後は、リラックスした雰囲気になり、高校生が大学に対して感じているいろいろな疑問や質問が寄せられ、にぎやかな時間となりました。また、食後の時間を利用して理学部1号館にある札幌市で唯一の総合博物館を見学したグループもありました。</p> <p>午後には再び各グループに分かれて、実験やディスカッションを行いました。途中、クッキータイムを設けて、フリートークを行ったところ、実験についての感想がたくさん飛び出しました。その時に記入してもらったアンケートの結果では、参加者の全員が「科学に興味があった」と回答しており、また半数の生徒が「将来、自分が研究者になろうと思った」、「また参加したい」との回答がありました。プログラムの最後に、佐々木教授から参加者一人一人に対して「未来博士号」の修了証書が授与されました。</p>		

写真

